

令和2年度が始まって

(一社) 岐阜県臨床検査技師会
会長 浅野 敦



令和2年度が始まり一か月が過ぎました。昨年度は甚大な災害が多く、岐臨技も中部圏支部医学検査学会では大きな影響を受けました。年が明けて厄は払われたものと信じ、今年は有益な活動ができることを期待しましたが、新型コロナウイルスという新たな大敵が現れて今まさに我々は苦しめられています。深い崖・立ちはだかる壁、技師会にとってきつい試練が続いています。医療機関は医療崩壊を招かないよう日々努力、日常生活でも活動の自粛が要請され、皆様も疲弊感が強くなってきていませんか。この季節、休日を使って千葉・大阪・山

梨・長崎などにあるテーマパークに行って羽を伸ばしたいと思う人も多いのではないのでしょうか。憎き大敵の新型コロナウイルス、早く終息してほしいですね。ワクチンの開発が待ち遠しいかぎりです。

今年3月に予定していた岐阜県医学検査学会、部門研修会、理事会等のイベントは中止あるいは無期限の延期とし、6月末までのイベントも自粛していただくようお願いをしています。現状（5月9日時点）、7月以降のイベント開催について断定的な案内をするのは難しいですが、webによる開催や3密回避での開催など開催体系を変化させて対応していこうと考えています。web参加でも生涯教育の点数が取得できるよう配慮いたします。都度、案内をさせていただきますので岐臨技の定期便やHPから確認してください。

6月7日（日）の定時総会（今年度は一般会員招集無しの特例）後は新役員の体制に切り替わります。新型コロナウイルスの影響はしばらく続くと推察され、技師会運営における課題は多いです。会員皆様のご理解とご協力が必須です。岐臨技会員900名の力で技師会組織を盛り立ててください。

適切な感染予防をして健康に細心の注意を払い、日々の業務を遂行していただくことをお願いいたします。

正しい手の洗い方

- 手洗いの前に
- ・爪は短く切っておきましょう
 - ・時計や指輪は外しておきましょう
- 1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
 - 2 手の甲をのばすようにこすります。
 - 3 指先・爪の間を念入りにこすります。
 - 4 指の間を洗います。
 - 5 親指と手のひらをねじり洗います。
 - 6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

厚生労働省HPより

都道府県技師会リーダー育成研修会に参加して

高山赤十字病院 松本 信子

都道府県技師会リーダー育成研修会に参加させていただきました。当日のスケジュールは午前は講義、午後はグループディスカッションという流れでした。

その中で、特に印象に残ったのは、日臨技専務理事の深澤先生による「臨床検査技師の進むべき未来と次世代のリーダーに求めるもの」の講義でした。時代が刻一刻と変化して行くなかで、検査技師が今後どうあるべきなのか考える良い機会となりました。また、リーダーとしてのあるべき姿勢の話は、今後の自分にとって大きな指針となりました。

午後は、森先生と柴先生が女性技師としてどのように技師会活動に関わってこられたかの体験話を聞かせていただきました。女性は結婚・出産・育児というライフイベントがあります。また、検査技師は女性が多く占める職種でもあります。その中で、自分も家庭と子育てをしながら、いかにして働くべきかは日々の課題でもあり、自分の過去の人生と重ねながら共感しつつも改めて自分はまだまだだと感じました。

後半のグループディスカッションもゲームを交えて楽しく盛り上がりました。他施設の女性技師の方々と交流を深めることもできて、あっという間の一日でした。今回の研修で得られた学びを意識づけながら業務に生かしたいと思います。

最後に、今回の研修を開催していただいた方々に心より感謝申し上げます。



令和元年度最後の会報誌となりました。令和元年は岐臨技としても大きな行事「第58回中部圏支部学会」がありました。悪天候によるスケジュール変更を余儀なくされた学会でしたが、実行委員はじめ会員の皆様的一致団結した対応で乗り切ることができました。

そして今。。。時々刻々と情勢が変わる中、岐臨技、そして皆様のご家庭、職場は未曾有の事態に直面しております。完全な終息は難しいといわれる中、この事態への対応、経験が必ず次の「新たなステップ」になると信じ、頑張っていきましょう。ご寄稿、情報提供などご協力いただきました会員の皆様に感謝申し上げます。また明るい令和2年度を祈念し、編集後記とさせていただきます。 (文責 高崎)

発行所(一社)岐阜県臨床検査技師会

〒500-8384 岐阜市藪田南3 丁目5 番地 10 コスタ岐阜県庁前 603 号
TEL 058-275-5596 FAX 058-213-0220

発行責任者 浅野 敦

編集者 高崎 昭彦 松浦 康博 種村 久子
E-mail giringi-office@giringi.jp